



Copyright © 2014 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. 機能一覧
- 4. システム要件
- 5. 検証済み環境
- 6. サードパーティ ライセンス一覧
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

## 改訂情報

---

変更年月日	変更内容
2013-04-01	初版
2013-07-01	第2版
2014-04-01	第3版 以下を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 「<a href="#">はじめに</a>」を変更</li><li>▪ 「<a href="#">機能一覧</a>」を変更</li><li>▪ 「<a href="#">システム要件</a>」を変更</li><li>▪ 「<a href="#">検証済み環境</a>」を変更</li><li>▪ 「<a href="#">制限事項</a>」を変更</li></ul>
2015-08-01	第4版 以下を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 「<a href="#">はじめに</a>」を変更</li></ul>
2016-04-01	第5版 以下を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 「<a href="#">制限事項</a>」を変更</li></ul>

## はじめに

---

### 本書の内容

---

本書では IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring のリリース内容について記載されています。

intra-mart Accel Platform（以下、iAP）にインストールする、IM-Mail（intra-mart 部分、以下IM-Mail）とNTT コミュニケーションズ株式会社のセキュアICT サービス EnterpriseMail(旧 Biz メール）（以下、IM-Mail（メールサービス部分））のうち、IM-Mail部分の内容となります。

IM-Mailの利用は、IM-Mail（メールサービス部分）の契約がNTT コミュニケーションズ株式会社と完了していることが前提となります。



#### 注意

IM-Mail v7.1から移行する場合は、IM-Mail（メールサービス部分）新基盤への移行も同時に行う必要があります。

## 機能一覧

以下に本製品の機能一覧を列挙します。本製品の機能では、以下のユーザ・ロケール設定に対応しています。

- 日本語
- 英語
- 中国語(簡体字)

各機能の仕様や設定方法に関しては、各マニュアルまたはセットアップガイド等を参照してください。

機能	機能概要
IM-Mail（メールサービス部分）とのシングルサインオン	通常IM-Mail（メールサービス部分）へ遷移する際にはiAP とは別にログイン認証が必要となりますが、この機能によってiAP からIM-Mail（メールサービス部分）のログイン画面で認証することなく利用が可能です。
アカウント連携	iAP のアカウント情報をIM-Mail（メールサービス部分）のアカウント連携API（https 通信）を利用し、リアルタイム同期を行う機能です。 連携されたアカウント情報はIM-Mail（メールサービス部分）のグローバルアドレスリスト（アドレス帳）に自動で表示されます。
未読ポートレット	iAP のポータルに設置できるユーザ向けのポートレットで、IM-Mail（メールサービス部分）の受信箱にある未読メールを一覧表示する機能です。

## システム要件

---

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

### サーバ要件

---


種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2008 R2
	Windows Server 2012
	Red Hat Enterprise Linux 6
ハードウェア	各OSの安定稼動が可能となるPC  (CPU 3GHz以上を推奨)
必要メモリ容量	4GB 以上
必要ディスク容量	1GB 以上 ( intra-mart Accel Platform のみ)
Java VM	Java Platform, Standard Edition 7 Development Kit
Web Application Server	Resin 4.0.37
Database	Oracle Database 11g Release 2
	Oracle Database 12c Release 1
	PostgreSQL 9.2
	PostgreSQL 9.3
	Microsoft SQL Server 2008 R2
	Microsoft SQL Server 2012
	IBM DB2 9.7 FixPack5
	IBM DB2 10.1 FixPack2

---

種別	製品名
Web Server	Internet Information Services 7.5 (Windows Server 2008 R2)
(Web Server 利用時のみ)	Internet Information Services 8 (Windows Server 2012)
	Apache HTTP Server 2.2.x (DSO サポート版)
IM-Juggling	Windows 7 (32bit、64bit)
バージョン : 1.0-20140401	<ul style="list-style-type: none"> <li>Java VM の対象 Java Platform, Standard Edition 7 Development Kit</li> <li>日本語、中国語、英語OS対象</li> </ul>



### コラム

セットアップ済のim-Jugglingツールのバージョンの確認は、ツールバー  (このアプリケーションに関して) をクリックします。

ポップアップで表示される左下にバージョン番号が表示されます。

2014-04-01 現在の最新バージョンは、「1.0-20140401」です。



### 注意

Java VM は次のバージョン以上が前提となります。

Java SE Development Kit 7u25 以上



### 注意

IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring で使用する文字コードは、UTF-8 のみです。



### 注意

Microsoft製品 (SQL Server) をご検討の場合は事前に弊社までご相談ください。

## intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2014 Spring 以降
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。

## クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ
PC(IM-Mail)	PC/AT 互換機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 8
			Internet Explorer 9
			Internet Explorer 10
			Internet Explorer 11
			Google Chrome 31以上
		Windows 8	Internet Explorer 10（デスクトップ用 Internet Explorer）
		Mac	Mac OS 10.7以上 Safari 6以上
PC(IM-Mail メールサービス部分)	IM-Mail（メールサービス部分）の仕様に準じます。		
スマートフォン	IM-Mail（メールサービス部分）の仕様に準じます。		



#### コラム

クライアント端末は32bit、64bitどちらも動作可能です。



#### 注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。

例えば次の組み合わせはサポートの対象外となります。ご注意ください。

\* Windows Server 2008 R2 + Internet Explorer 9 など



#### 注意

Internet Explorer の「互換モード」はサポート外となります。



#### 注意

Firefoxはサポート対象外です。



#### 注意

Internet Explorer 10（Windows UI の Internet Explorer）はサポート対象外です。

Internet Explorer 10については、下記を参照してください。

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832\(v=vs.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832(v=vs.85).aspx)





注意

Android端末は機種やブラウザの種類によって正常に動作しない場合があります。



注意

Androidタブレットはクライアント要件には含まれません。

## 検証済み環境

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせとなります。

## サーバ環境

### スタンドアローン構成

OS	Java VM	Web Server	Web Application Server	Database
Windows Server 2008 R2	Oracle JDK7		Resin 4.0.37	PostgreSQL 9.3



#### コラム

検証環境のデータベース接続に利用するJDBCドライバは、Type4（非XA）にて検証を実施しています。



#### 注意

上記はIPv4環境での検証となります。IPv6環境での検証は行っておりません。



#### 注意

intra-mart製品以外（OS、Java VM、Database、Mailサーバ等）に起因する問題はサポート対象外となります。

## クライアント環境

### PC

OS	ブラウザ
Windows 7 SP1	Internet Explorer 8
	Internet Explorer 9
	Internet Explorer 11
	Google Chrome 31

Windows 8	Internet Explorer 10 (デスクトップ用 Internet Explorer)
-----------	--

---

Mac OS 10.7	Safari 7
-------------	----------

---

## サードパーティ ライセンス一覧

---

サードパー ティ	バー ジョン	ライセンス	URL
-------------	-----------	-------	-----

jQuery UI	1.8.1	MIT	<a href="http://jqueryui.com/">http://jqueryui.com/</a>
-----------	-------	-----	---

---

## 制限事項

---

IM-Mail（メールサービス部分）と iAP のパスワードポリシーは一致させる必要があります。

---

マネージャを使用せずにアカウント、プロフィールの更新を行っている場合、アカウント同期処理は行われません。

---

- IM-Mail（intra-mart 部分）と IM-Mail（メールサービス部分）のアカウント同期処理は intra-mart Accel Platform の各マネージャ（アカウント、ユーザ、会社・組織、ライセンス、アプリケーションライセンス）のリスナ・伝播機能で行っているため、マネージャを使用せずにアカウント、プロフィールの更新を行っているアプリケーションの機能がある場合、アカウント同期処理は行われません。

リスナ、im-propagation によるアカウント同期でエラーが発生した場合、エラー詳細は画面上に表示されません。

---

- アカウント、ユーザ、会社・組織、ライセンス、アプリケーションライセンスの各リスナを呼び出しているマネージャを利用している既存の API によってはエラーの内容にかかわらずエラーメッセージが固定で表示されます。この場合、アカウント同期で発生したエラー詳細はログに出力され、画面上には表示されません。

アカウントそのものの変更、ドメインの変更はできません。

---

- 一旦、該当のアカウントを削除し新規登録することになります。

アカウント連携においては IM-Mail（メールサービス部分）のアカウント連携 API の仕様に準拠します。

---

アカウント連携の電話番号項目は、数値および'-'(ハイフン)のみ有効です。

---

IM-Mailの設定ファイルに不備があった場合、intra-mart Accel Platform の各機能で処理時（登録・更新・削除等）にエラーが発生する場合があります。

---

IM-Mail（メールサービス部分）のメールサービスコントロールパネル（旧プロビジョニングシステム）において、必ず設定を行ってください。

---

- IM-Mail（メールサービス部分）のメールサービスコントロールパネル（旧プロビジョニングシステム）において、以下の設定を行う必要があります。  
（設定が行われていない場合、IM-Mail の一部機能が利用できない／連携データに不整合が生じることになります）

■グループ情報の「全般的な機能」項目（グループ管理 > 検索 > グループ情報）  
・パスワードを変更 → チェックオフに設定

「ポータル 移行モジュール」によって、IM-Mail Ver.7.1 の未読ポートレット・データはそのままコピーされます。

---

- コピーされた IM-Mail Ver.7.1 の未読ポートレットは、ページ種別、URL、ポートレットの高さなどが IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring と異なっています。  
そのため、intra-mart Accel Platform 上で利用することは推奨されません。

IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring(Ver 8.0.2) は、IM-Mail(メールサービス部分)新基盤のみ連携可能です。

---

IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring(Ver 8.0.2)からIM-Mail(メールサービス部分)側の仕様変更により、正規アドレスは廃止されました。

---

IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring(Ver 8.0.2)からエイリアスの操作は行えなくなりました。

---

- エイリアスの追加や削除はメールサービスコントロールパネル（旧プロビジョニングシステム）で実施してください。

IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring(Ver 8.0.2)からIM-Mail(メールサービス部分)側の仕様変更により、組織に関する情報は連携されなくなりました。

---

- 主所属組織は同期されません。

ー IM-Mail for Accel Platform 2014 Spring リリースノート 第5版 2016-04-01  
同期対象でない項目については、直接メールサービスコントロールパネル（旧プロビジョニングシステム）で設定してください。

---

- 同期対象項目については「[IM-Mail for Accel Platform 仕様書](#)」 - 「[IM-Mail機能](#)」 - 「[アカウント連携](#)」 - 「[IM-Mail（メールサービス部分）とのデフォルトカラムマッピング](#)」を参照してください。

未読ポートレットで利用しているIMAP接続を未読ポートレットでのデータ取得以外に利用することはできません。

---

- クライアントからの接続で利用する場合は、別途有償オプションが必要です。

IM-Mail(メールサービス部分)との連携においては、仕様上の制限により、1件あたり約15～60秒ほど処理時間がかかります。

---

- 例：2000件のユーザ情報を更新する場合、処理に約31.5時間かかります。  
本制限については、IM-Mail(メールサービス部分)側での改善を検討します。

IM-Mail（メールサービス部分）とアカウント同期する場合は、メールアドレス文字数、利用可能文字に制限があります。

---

- メールアドレス文字数、利用可能文字に関する制限事項は下記の通りです。
  - 文字数：  
[メールアカウント@メールドメイン]アカウントと@とドメイン全て含めて最大64文字までとなります。
  - 利用可能文字：  
半角英数字（a-z or 0-9）  
記号 \_（アンダーライン）、-（ハイフン）、.（ドット）、=（等号）、~（波ダッシュ）
  - その他制約事項：  
最初の1文字目は半角英数字（a-z or 0-9）です。  
※下記のアカウントはご利用いただけません。
    - ・ @の直前にドット“.”がついたアカウント
    - ・ ドット“.”が2つ以上連続したアカウント
    - ・ システムアカウント、「postmaster」、「galsync」、  
「ka-group-01」、「ka-group-02」、「ka-group-03」、「ka-group-04」

IM-Mail（メールサービス部分）とアカウント同期する場合は、パスワード文字数、利用可能文字に制限があります。

---

- パスワード文字数、利用可能文字文字に関する制限事項は下記の通りです。

■文字数：

半角6文字以上64文字以内

■利用可能文字：

半角英数字：a-z or A-Z or 0-9)

記号：\$(ドル記号)、+(プラス)、,(カンマ)、-(ハイフン)、/(スラッシュ)、=(イコール)、

@(アットマーク)、

[ (始め大括弧) 、 ] (終わり大括弧) 、 ^ (ハット) 、 \_ (アンダーライン) 、 { (始め中括弧) 、 } (終わり中括弧) ~ (波ダッシュ)

■その他制約事項：

大文字・小文字の区別があります。

## パスワード保存方式が「ハッシュ化」の場合、IM-Mail for Accel Platformを利用できません。

---

- IM-Mail for Accel Platformでは、メールサーバであるEnterpriseMailとアカウント情報の同期を行います。  
パスワード保存方式が「ハッシュ化」の場合、アカウントのパスワードが取得できないため同期が正常に行えません。



## 保証規程

---

### 保証内容及び対象

---

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=immail>）に

掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザー登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

### 保証の適用除外

---

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）  
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

### 免責

---

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、  
本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

### その他の契約との関係

---

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

## 著作権および特記事項

---

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上